

2011年2月14日

厚生労働大臣
細川 律夫 殿

特定非営利活動法人 アフリカ日本協議会
代表 林 達 雄

特定非営利活動法人 エイズ・アンド・ソサエティ研究会議
代表 根 岸 昌 功

特定非営利活動法人 日本 HIV 陽性者ネットワーク
代表 長 谷 川 博 史

国際麻薬委員会に関する要望書

来る3月21日より25日までウイーンにおいて第54回国連麻薬委員会が開催されます。これにつき、私たち HIV 感染症に取り組む3団体は、次の3点を要望いたします。

- 一 危害の削減（ハームリダクション）が国際的な薬物対策、感染症対策に必要であることを認め、これを否定する発言を麻薬委員会で行わないこと。
この方策の効果は、科学的に実証されています。もしも昨年と同様の発言をされるならば、その根拠をお示し下さい
- 一 麻薬委員会に出席する政府代表団に、市民社会からも代表者を参加させること。
- 一 麻薬委員会開催前に、市民社会団体との会合を開催して意見を交換し、これを委員会に臨む方針に反映させること。

この要望をご検討下さり、ご回答いただけますようお願いいたします。

以上